

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名	新	私立高等学校等教育振興費補助金 (新型コロナ・ふるさと岐阜に触れる学び支援)
-----	----------	--

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課 私学助成係 電話番号：058-272-1111 (内 2462)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,141 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	23,141	0	0	0	0	0	0	0	23,141
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、県内の各私立小・中・高等学校においても県外への旅行や県境を越える交流、宿泊を伴う体験学習などが自粛や中止となり、修学旅行についても同様に中止を軸として検討している状況にある。
- ・修学旅行や体験学習等が中止となることで、児童生徒が校内での授業だけでなく、地域や社会に触れて様々な体験をし、互いに協力し合って学び合う経験から得られる喜びや達成感を味わえない状況にある。
- ・修学旅行や体験学習等の中止で失われた、体験や経験などを通して得られる、校内での授業では得られない学びの機会を与え、普段生活している地元や県内各地域の自然、歴史、伝統などに触れることで、ふるさと岐阜についてより深く知り、学ぶ機会を創り出す。
- ・また、そのような体験や学びを通して、子どもたちがふるさと岐阜に興味を持ち、子どもたちの郷土を愛する心を育むことで、将来にわたって岐阜を愛し、岐阜で暮らし、いつまでも岐阜を支える若者を増やすことに繋げる。

(2) 事業内容

- ・県内の私立小学校、中学校、高等学校の修学旅行に代わる、県内での体験学習（日帰り）実施に係る経費を支援。（入館料、体験料、利用料、密を避けるための追加の借上げバス経費等）

(3) 県負担・補助率の考え方

- 新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行や体験学習が中止となり、体験や経験、触れ合いから得られる学習機会の確保が課題となっている中、県内で同様な体験学習を実施し、ふるさと岐阜を学ぶ機会を創る学校の取組みを支援することで、子どもたちの体験学習の機会とふるさと岐阜を愛する心を育て、将来にわたって岐阜を支える人材を確保することは、県の大切な役割である。
- また、学校の体験学習実施により、県内各地の観光関連事業者等の支援にもつながる。
- 体験学習を実施する経費のうち、密を避けるため増車する借上バスの経費及び関係施設の利用料（入館料、体験料等）を支援。【補助率 10 / 10】

(4) 類似事業の有無

県内公立学校についても同様の支援を実施

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	23,141	バス借上料（増車台数分）及び施設入館料等に対する補助
合計	23,141	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 後年度の財政負担

今年度限りの事業

(3) 事業主体及びその妥当性

県内私立学校に通う児童生徒の保護者負担の軽減であり、県の実施は妥当

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	私立高等学校等教育振興費補助金
補助事業者（団体）	私立高等学校等の設置者 （理由）私立小・中・高校に通う児童生徒の学びを支援するため。
補助事業の概要	（目的）新型コロナウイルス感染拡大に伴い、通常の修学旅行に替えて県内での体験学習等を実施する学校の保護者負担を軽減する。 （内容）県内での体験学習実施経費に対して補助金を交付する。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他 （内容）バス借上料（増車台数分）及び施設入館料等の体験学習実施経費を補助 （理由）保護者の財政的負担を軽減する。
補助効果	県内でふるさと岐阜の自然、歴史、伝統などに触れる体験学習を実施し、ふるさと岐阜を学ぶ機会を創る学校の取組みを支援することで、子どもたちのふるさと岐阜を愛する心を育て、将来にわたって岐阜を支える人材を確保する。
終期の設定	終期 令和2年度 （理由）終期到来時の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、その後の方針を検討する。

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県内私立学校の修学旅行に替わる県内での体験学習等の円滑な実施を支援</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (終期)
新型コロナウイルス感染症対策として、修学旅行に替わる体験学習等の費用の保護者負担の軽減を目的とする事業であり、量的な指標の設定は困難。	/	/	/

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 23,141千円
指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○ 新型コロナウイルス感染症対策として、修学旅行に替わる県内での体験学習等の円滑な実施を支援することで、児童生徒がふるさと岐阜を学ぶ機会を創り、ふるさと岐阜を愛する心を育て、将来にわたって岐阜を支える人材を確保する。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
